

森林総合研究所 REDD 研究開発センター 平成 30 年度国際セミナー

REDD プラスはどこまで来たか？ 機会を活かすために

How far have we reached?

- Overview the history of REDD-plus and explore opportunities -

2019年

2月 6 日
(水)

10:00～17:30 (9:30 開場)

東京大学 伊藤謝恩ホール

(東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線「本郷三丁目」駅徒歩5分)

日本語英語同時通訳・参加無料

基調講演

フランシス・セイモア (世界資源研究所(WRI) 名誉上級研究員)

ルアンダ・アグン・スガルディマン (インドネシア環境林業省気候変動総局長)*調整中

参加申込(1月28日締切)



プログラム詳細

<http://redd.ffpri.affrc.go.jp>



お問い合わせ: 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 REDD 研究開発センター国際セミナー運営事務局
国際緑化推進センター(担当: 佐野・森山) TEL: 03-5689-3450 E-mail: redd-plus@jifpro.or.jp

主催: 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

共催: 国際熱帯木材機構 (ITTO)、国際協力機構 (JICA)、森から世界を変える REDD+ プラットフォーム

後援: 林野庁、外務省、経済産業省、環境省、日本リモートセンシング学会、日本森林学会、日本熱帯生態学会、森林計画学会

REDDプラスはどこまで来たか？機会を活かすために

How far have we reached?

- Overview the history of REDD-plus and explore opportunities -

セミナー開催趣旨

国連気候変動枠組条約(UNFCCC)におけるREDDプラスについて、パリ協定の発効をもって、各国が実施の努力を開始しています。REDDプラスの実施体制をより強化するためには、技術的観点と政策的・資金的観点からREDDプラスのポテンシャルを明らかにすることが求められます。

REDDプラスにおける技術的・制度的な課題は、地域の実情に合わせた低コストな森林減少のモニタリング手法の開発や、各国の参照レベルの設定、セーフガード情報システムにむけたセーフガードガイドラインの開発によって克服されつつあります。

また、政策的・資金的観点からも進展が見られます。例えば、森林減少の主要因の一つである違法伐採について、多くの途上国で対策が試行されています。また、REDDプラスを支援する様々なファンドや資金メカニズムが提供されています。これら公的資金に加えて、SDGs支援にも資するCSR活動として気候変動の緩和・適応への取り組みが進められ、民間資金の動員が期待されています。

本セミナーは、技術的観点と政策的・資金的観点からREDDプラスの実施に向けた発展の歴史と最新のトレンドを振り返り、民間セクターを含む様々なステークホルダーによるREDDプラスのさらなるポテンシャルを議論する機会を提供します。

基調講演者

フランシス・セイモア

世界資源研究所(World Resources Institute)
名誉上級研究員



2006年から2017年まで国際林業研究センター(CIFOR)所長、世界開発センター上級研究員を経て、2017年より現職。森林やガバナンスに関する研究を行い、「グローバルフォレストウォッチ」や「グローバルリストレーションイニシアティブ」などの主要なサービスのアドバイザーを務める。近著に「なぜ今、森林保全なのか？熱帯林と気候変動の科学・経済学・政治学」(仮訳)

ルアンダ・アグン・スガルディマン

インドネシア環境林業省気候変動総局 総局長



オランダのワゲニンゲン大学で「衛星レーダーによる森林火災及び森林面積モニタリング」をテーマに博士号を取得。専門は、GISやリモートセンシング技術を利用した森林インベントリ及び森林資源管理。2012年から2014年までUN-REDDプログラムのインドネシア副代表を務める。森林資源インベントリ及びモニタリング局局長を経て、2018年より現職。

プログラム

開会セッション

基調講演1：なぜ今、森林保全なのか？ REDDプラスの科学・経済学・政治学の最新動向

フランシス・セイモア（世界資源研究所(WRI)）

基調講演2：インドネシアのREDDプラス実施体制：進捗と展望

ルアンダ・アグン・スガルディマン（インドネシア環境林業省気候変動総局）*調整中

セッション1：REDDプラスは技術面でどこまで来たか

マリエケ・サンドケル（国連食糧農業機関(FAO)）

ジョアキム・アーマンド・マクアクア（モザンビーク土地・環境・地域開発省森林局）

アナリサ・サバレシ（英国スティアリング大学）

セッション2：REDDプラスは施策面・資金面でどこまで来たか

ゲルハルト・ディターレ（国際熱帯木材機関(ITTO)）

池田 賢志（金融庁）*調整中

奥村 澄（国際金融公社(IFC)）

パネルディスカッション：本格実施のステージへ向けたREDDプラスの課題と機会—どこにいるのか、何をすべきか

基調講演、セッション登壇者が参加

お問い合わせ 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 REDD研究開発センター国際セミナー運営事務局
国際緑化推進センター（担当：佐野・森山）

TEL: 03-5689-3450 E-mail: redd-plus@jifpro.or.jp

主催 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所